

令和2年度
事業報告書

社会福祉法人

静岡市しみず社会福祉事業団

目 次

I	事務局	1
II	静岡市清水みなとふれあいセンター〔身体障害者福祉センターB型〕	6
III	静岡市清水ひびきワーク〔生活介護事業所〕	9
IV	静岡市清水うみのこセンター〔母子療育訓練センター〕	13
V	静岡市清水うしおワーク〔多機能型事業所〕	
1	生活介護事業	16
2	就労継続支援B型事業	20
VI	静岡市清水うなばら学園〔生活介護事業所〕	24
VII	静岡市清水なぎさホーム〔生活介護事業所〕	28
VIII	障害者相談支援センターわだつみ〔相談支援事業〕	31

I 事務局

障害者総合支援法に基づく法定施設及び受託施設の円滑な運営を図るとともに、経理、出納、物品の取扱い等の各種事務、財産の維持保全、予算、決算事務を行った。

また、指定管理事業者として利用者の視点に立ち、長年培ってきた支援技術と福祉サービスの充実を図るとともに、経営の健全化と安定化を図った。

1 評議員会の開催状況

回	月 日	会 場	出席者数	主たる審議事項
定時 (1)	6月12日		決議の省略 同意書提出者 7人	<ul style="list-style-type: none"> ○平成31年度事業報告及び各種会計決算認定 ○報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉充実計画を策定しない理由 ・苦情(相談・要望)解決結果状況等
2	3月26日	事業団 2階 会議室	評議員6人 監事2人	<ul style="list-style-type: none"> ○令和2年度各種会計収支補正予算 ○令和3年度事業計画 ○令和3年度各種会計収支予算 ○施設管理に係る協定の締結 ○障害者相談支援事業委託契約締結 ○役員等報酬の額及び支給の基準の承認 ○役員を選任

2 理事会の開催状況

回	月 日	会 場	出席者数	主たる審議事項
1	6月5日		決議の省略 同意書提出者8人 (監事2人含む)	<ul style="list-style-type: none"> ○平成31年度事業報告及び各種会計決算の認定 ○令和2年度定時評議員会の決議の省略 ○報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・理事長及び常務理事の職務の執行状況 ・社会福祉充実計画を策定しない理由 ・苦情(相談・要望)解決結果状況等
2	3月17日	事業団 2階 会議室	理事6人 監事2人	<ul style="list-style-type: none"> ○令和2年度各種会計収支補正予算 ○令和3年度事業計画 ○令和3年度各種会計収支予算 ○施設管理に係る協定の締結 ○障害者相談支援事業委託契約締結 ○第2回評議員会の開催 ○評議員選任・解任委員の交代 ○役員補欠の選任 ○施設長の任命 ○理事長専決事項報告

3 監査等

区分	実施日	実施者	内 容
会計帳簿監査	5月25日	杉山明喜雄 公認会計士他3人	平成31年度決算に伴う経理監査
決算監査	5月29日	事業団監事2人	平成31年度決算書類及び付属関係書類、関係諸帳簿との照合、係数検査等
定期監査	12月14日	事業団監事2人	令和2年度前期分各種計算書類等の確認、業務状況報告

※いずれも、適正、かつ正確に行われているとの報告を受けた。

4 第三者委員への苦情・要望内容の報告会

令和2年6月1日、各施設に寄せられた苦情・要望内容について第三者委員2人に報告した。
なお、個々の苦情解決並びに直接、施設運営適正化委員が受け付けた案件はなかった。

5 職員配置状況(令和2年度末)

適正な職員配置を行い、業務に万全を期した。(単位：人)

事業別	施設名	常 勤	非常勤 (嘱託医等含む)	兼 務	合 計
本部	事務局	4	1 (役員)	(2)	5
身体障害者福祉 センターB型	静岡市清水みなと ふれあいセンター	4		(1)	4
生活介護事業所	静岡市清水 ひびきワーク	4	2	1	7
母子療育訓練 センター	静岡市清水 うみのこセンター	6	5		11
多機能型事業所	静岡市清水 うしおワーク	13	1	1	15
生活介護事業所	静岡市清水 うなばら学園	17	2		19
生活介護事業所	静岡市清水 なぎさホーム	10	3	(2)	13
相談支援事業	障害者相談支援セ ンターわだつみ	7		(1)	7
合 計		65	14	3(6)	82

6 事務局職員の配置状況 (単位：人)

	常 勤	非常勤	兼 務	計	備考
理事長		1		1	
常務理事 兼事務局長	1		(1)	1	
事務員	3		(1)	3	
計	4	1	(2)	5	

7 職員研修等

職員の資質の向上、専門的知識、技能の習得を図るため、関係機関が開催する実務研修や各種研修会に積極的に参加した他、事業団職員研修計画に基づいて内部研修、階層別研修等を実施した。

(1) 職員研修実施状況

ア 階層別研修

実施日	研修名	参加職員	人数	主な内容
4月2日 4月3日 4月6日 4月7日	新規採用職員研修	令和2年度 新規採用職員	4人	組織についての基礎知識 利用者の処遇等について
4月7日	交通安全研修	令和2年度 新規採用職員	4人	公用車の使用について 教材(DVD)
4月7日	保健衛生研修	令和2年度 新規採用職員	4人	障害者施設の健康管理 感染症対策等
6月1日 6月2日 6月3日	新規採用職員研修Ⅱ	令和2年度 新規採用職員	5人	利用者の処遇等について
9月3日 9月10日	中級職員研修	採用後 5～7年職員	4人	最近の福祉サービス 組織での役割について
10月1日	新規採用職員 採用後6ヶ月研修	令和2年度 新規採用職員	2人	採用後6ヶ月経過し、社会人 としての意識向上の振り返り

イ 全体研修

10月7日	情報セキュリティ 対策研修	全職員	65人	情報セキュリティの基本
12月9日	新型コロナウイルス 感染防止対策	全職員	65人	感染防止対策研修
12月11日	AED講習会	全職員 (3年で全職員)	22人	AEDの使用方法を学ぶ
2月24日	情報セキュリティ ヒヤリング研修	全職員	65人	情報セキュリティ対策後の状 況について

ウ 専門研修 (外部研修)

4月27日	監事監査研修会	理事長 事務局長	2人	会計監査のねらい等
6月1日	社会福祉法人 運営管理研修	事務局長	1人	法人運営について
9月11日	発達障害について	事務局員	1人	発達障害の基本
9月24日	不当要求防止 責任者講習会	施設長	1人	不当要求行為等について
10月15日 10月16日	防火管理者研修	施設長	1人	甲種防火管理者新規研修

11月13日	サービス管理責任者等更新研修	サービス管理責任者	1人	サービス管理責任者の資質向上
3月9日	安全運転管理者研修	事務局主幹(副安管)	1人	安全運転管理者法定講習会
3月15日 3月16日	防火管理者研修	主任	1人	甲種防火管理者新規研修

エ 視察研修

11月18日	先進地視察研修	主任会議委員	2人	放課後等デイサービス事業あげは
11月18日	先進地視察研修	主任会議委員	2人	放課後等デイサービス事業子どもサポート ポプリ

オ OJT制度及びメンター制度の導入

制度名	内容等
OJT制度	新規採用職員や施設間の職員配置換えに伴う異動後間もない職員に対して、有効で実践的な接遇技術を「利用者の処遇に関する支援マニュアル」等を通じて実施した。
メンター制度	新規採用職員を対象にメンティ(被育成者)をマッチングし、業務だけにとどまらず、スキル形成、人間関係の構築等、併せて法人の中長期的な成長を見込み、メンターの組織人としての成長支援を実施した。併せて、メンターリーダーを配置したうえでメンター報告会を実施し、情報交換会やメンターに対してのケアに努めた。

(2) 職員の主な国家資格取得状況(※重複取得者あり)

資格名	人数
社会福祉士	9人
精神保健福祉士	1人
介護福祉士	20人
保健師・看護師	5人
公認心理師	1人
作業療法士	1人
合計	38人

8 体験実習等の受入れ

事業団内福祉施設の体験学習や実習、施設見学等、積極的に受け入れた。

受入団体名	人数	備考
新規採用職員候補者	5人	
嘱託職員採用試験受験者	20人	

清水特別支援学校教員	1人	
静岡県議会議員	2人	
求人紹介企業渉外担当者	5人	
静岡県社会福祉人材センター職員	1人	
一般の方	1人	
合 計	36人	

9 情報公開等

事業団各施設の概要、事業内容、収支決算等を事業団だより「つばさ」（年1回[8月]・2,500部）を発行した他、ホームページを随時更新し、最新情報を公開した。

10 防災関係

(1) 総合防災訓練

年3回(8月・11月・3月)、事業団全施設を対象に地震による火災発生を想定した初期消火訓練、避難誘導訓練、津波避難訓練、通報訓練のほか、建物の倒壊等により道路が遮断され帰宅困難を想定した炊出し訓練等の総合防災訓練を実施した。

(2) 防災備蓄品

緊急時に備え、食料・保存水(200人分・7日程度)の他、発電機(4台)、寝袋(200個)、簡易トイレ、ハロゲンライト(4基)等を備蓄している。

また、静岡市の防災倉庫を敷地内に設置し、浄水機や受水槽等の資機材を保管している。

11 その他

(1) 新型コロナウイルス感染対策等に対応するため感染対策委員会を年12回開催した。

(2) 地域における公益的な取組み

ア 地域の3公園の清掃活動を毎月実施した。

イ 地域の歩行者道路及びガードレールの清掃を2回実施した。

ウ 地域のカーブミラー清掃を4回実施した。

II 静岡市清水みなとふれあいセンター(身体障害者福祉センターB型)

在宅障害者を対象に機能訓練や創作的活動を行った他、障害者団体が実施する事業の運営協力、広報紙等の啓発活動、地域福祉活動、静岡市委託事業の開催、施設提供等各種事業を実施した。

1 職員の配置状況(単位:人)

	常勤	非常勤	兼務	計	備考
施設長	1			1	
指導員	3		1	3	事務局兼務
計	4	0	1	4	

2 事業の実施状況

(1) 機能訓練、創作的活動

ア 機能訓練・社会参加促進

書道・ペン習字・陶芸等9教室実施:延66回・497人参加

イ 体力増進

卓球・ボッチャ・水中運動・グラウンドゴルフ・エンジョイスports・レクリエーション等の13教室実施:延128回・1,254人参加

(2) 障害者福祉団体等への事業運営協力

ア 静岡市身体障害者団体連合会パラスポーツ大会協力

※ 年間計画で予定していた10事業は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

(3) 啓発活動

ア みなとだより(広報紙)の発行(定期発行12回、感染対策等臨時発行3回)

イ 事業団広報誌「つばさ」の発行(1回)

(4) 地域福祉活動

ア 駒越地区企画委員会への参画(4月、5月参加。以降中止)

※ 年間計画で予定していた6事業は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

(5) 静岡市委託事業

ア 手話奉仕員養成講座

区分		開催月	実施回数	会場	参加人員	参加延人員
清水区	昼の部	4月～3月	2回	はーとぴあ清水	28人	35人
葵区 駿河区	夜の部	4月～3月	2回	中央福祉センター	29人	49人
合計			4回		57人	84人

※昼・夜の部とも年46回開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

イ 移動支援従事者養成研修

※年6回開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

ウ 要約筆記者養成講座

区 分	開催月	実施回数	会 場	参加人員	参加延人員
手書きコース	10月～12月	11回	中央福祉センター	3人	19人
合 計		11回		3人	19人

(6) 会議室、運動広場等の施設利用(外部)

区 分	件数
会議室	3件
運動広場	34
多目的ホール	3
計	40

(7) 新型コロナウイルス感染症による事業中止の際の代替事業

ア 電話相談業務等

(単位：件)

	電話・FAX	家庭訪問
相談支援	178	4
独居者健康観察	24	4
計	202	8

※この他活動休止に伴う電話連絡を行った。

イ 広報誌の臨時発行(3回)

ウ 内部職員研修の実施

内容	回数
高次脳機能障害の理解	1
障害者スポーツの指導法・体験	1
陶芸教室の運営方法と知識・技術習得	1

エ 代替活動の検討

新規スポーツ導入のための道具作成

単発事業の実実施計画

オ 施設、備品の点検及び補修

創作室床補修、備品車椅子点検・整備他

カ 新型コロナウイルス感染症対策

3 密を避けた活動内容、実施方法（グループ編成）の検討
送迎車の定員および送迎ルートの見直し

Ⅲ 静岡市清水ひびきワーク（生活介護事業所：定員 20 名）

利用者が望む生活の実現を支援するための個別支援計画を作成し、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう創作的活動及び生産活動の機会の提供、その他の支援を適切かつ効果的に行った。

生産活動は、受注先である企業との連絡を密にして安定した作業量の確保に努めた。

また、希望する利用者には4台のバス（静岡市清水うしおワーク利用者、静岡市清水うなばら学園利用者と同乗）で送迎を行った。

なお、利用時間の延長の取組みとして、利用時間前・後の受入れ、個別支援計画に基づいた支援の対応を行う等、概ね計画どおり進めることができた。

1 職員の配置状況（単位：人）

	常 勤	非常勤	兼 務	計	備 考
管理者 （施設長）	1			1	
サービス 管理責任者	1			1	
生活支援員	2	1		3	
看護師		1	1	1	なぎさホーム兼務
医 師		1		1	嘱託医
計	4	3	1	7	

2 利用者の状況（令和2年度末利用契約人員：16人）

(1) 年齢別（単位：人）

年齢 性別	～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	計	平均年齢	最長 年齢	最少 年齢
男	0	1	5	3	2	11	49.7歳	63歳	37歳
女	0	1	2	1	1	5	49.6歳	67歳	38歳
計	0	2	7	4	3	16	49.7歳		

(2) 在所期間（単位：人）

年数 性別	5年未満	5～10年	10～15年	15～20年	20年以上	計	平均在所 年数
男	2	1	2	1	5	11	13.4年
女	0	1	0	1	3	5	23.8年
計	2	2	2	2	8	16	18.5年

(3) 身体障害者手帳所持者 (単位：人)

等級 性別	1	2	3	4	5	6	なし	計
男	6	2	1	0	1	0	1	11
女	3	1	1	0	0	0	0	5
計	9	3	2	0	1	0	1	16

(4) 障害支援区分(受給者証) (単位：人)

区分 性別	1	2	3	4	5	6	計	平均
男	0	0	2	4	3	2	11	
女	0	0	2	0	3	0	5	
計	0	0	4	4	6	2	16	4.4

(5) 入退所状況

入所	退所
0人	1人

(6) 利用状況

月	開所日数	契約実人数	利用延人数
4	22日	17人	276人
5	18	17	242
6	23	17	274
7	23	17	275
8	22	17	251
9	22	17	245
10	23	17	260
11	22	17	247
12	23	16	236
1	22	16	233
2	20	16	218
3	24	16	264
計	264	—	3,021

3 生産活動

(1) 内容

事業所名	内 容
外岡作業所	箱折(ケーキトレー、菓子の箱折り・糊付け、ひも通し)
蒔田紙器(株)	ダンボール型抜き、組み(薬品梱包用)
安藤紙業(株)	分別作業

(2) 収入状況

年度別	令和2年度	平成31年度	増減
収入金額	910,738円	888,468円	22,270円

(3) 工賃支給状況(月額)

最 高	最 低	平 均
21,620円	570円	3,942円

4 主要行事等

行事名	実施月	回数
選択活動、外出活動(蓬莱橋)	11月	1回
スポーツ巡回指導(県障害者スポーツ協会指導)	2月	1回

※ 新型コロナウイルス感染症対策のため、買い物活動やバスハイク等は中止した。

※ その他、避難訓練(毎月1回)、健康診断(11月)を1回行う他、インフルエンザ予防接種(希望者のみ)を行った。

5 体験実習及びボランティア等の受入状況(延べ人数)

区 分	受入れ人数
利用者見学、体験、実習	13人
ボランティア	9人
大学、専門学校生等の見学、実習、体験	0人
その他(障害者スポーツ体験)	5人
合 計	27人

6 利用者、保護者との連絡調整

利用者及び保護者との個別面談や三者による面談会を行い、利用者へのサービスの向上に努めた。

IV 静岡市清水うみのこセンター(母子療育訓練センター)

発達が気になる乳幼児の早期発見、早期療育を目的に、療育相談や指導、生活自立への支援等を行うとともに、一人ひとりの状況に応じた発達支援、子育て支援に努めたほか、ビデオを用いたペアレントトレーニングの定期的な開催、心理職スタッフによる発達相談などを行った。

また、保健センター主催の遊びの教室他、早期発達支援の場である「ばすてるひろば」に定期的に職員を派遣し、スムーズに療育につなげるよう努めた。

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、事業実施に当たっては、検温、体調確認を行うとともに、三密を避けるため参加人数の調整や手指消毒、環境消毒、定期的な換気を行い感染防止対策の徹底を図った。

1 職員の配置状況(単位：人)

	常 勤	非常勤	兼 務	計	備 考
施設長	1			1	
指導員	5			5	
公認心理師		1		1	
医師		1		1	嘱託医
臨床発達心理士		3		3	
計	6	5	0	11	

2 利用状況調べ(単位：人)

月別	訓練	交流保育	特別指導	訪問指導	相談業務	合 計	一日平均数
4	49	0	2	0	199	250	11.9
5	0	0	0	11	257	268	14.8
6	135	0	7	37	205	384	17.5
7	166	11	5	43	205	430	20.5
8	153	0	7	18	167	345	17.3
9	150	22	5	24	203	404	20.2
10	151	15	7	14	170	357	16.2
11	162	16	6	4	174	362	19.1
12	163	16	5	6	166	356	17.8
1	172	6	5	5	256	444	23.4
2	177	0	3	8	190	378	21.0
3	219	0	5	7	178	409	17.7
計	1,697	86	57	177	2,370	4,387	18.1

※4月、5月は一部事業中止のため、相談業務(電話、メール等)を中心に行った。

[年度別登録者数等調]

年度別	登録者数	延利用者数
平成 31 年度	1 9 7 人	5, 1 4 2 人
令和 2 年度	2 1 3 人	4, 3 8 7 人

3 主要行事

行事名	実施月	回数
避難訓練	9月・11月・3月	3回
特別支援学校・特別支援学級見学	コロナ感染症対策により中止	
年長児母親教室	随時	5回
その他の母親教室	随時	6回
親同士の懇談会(みんなでほっとする会)	随時	6回
父親参加会(アンケート形式)	12月	1回

《その他》

- (1) 通常の支援では得られにくい集団活動と入園に向けた体験の一環として、区内指定こども園への交流保育を毎週水曜日に行った。
- (2) 小児神経内科医師、臨床発達心理士による特別指導を年 12 回、臨床発達心理士による療育相談会を年 26 回実施した。
- (3) 清水、蒲原保健センター主催のフォローグループの会に参加(年間 18 回)し、課題のあるケースへのアプローチや当センターの療育につなげていくため、積極的な働きかけを行った。
- (4) コミュニケーション発達を促すビデオを上映するペアレントトレーニングを 10 回実施した。
- (5) 生活支援として地域のお店に行き実際にお金のやり取りをしながら買い物をする体験を行った。

4 他機関との連携

他機関、関係団体等に対して、必要に応じて職員を派遣し、連携を図った。

内 容	回数
清水・蒲原保健センター職員派遣	18回
こども園・保育園・幼稚園・児童発達支援事業所訪問	57園
静岡市幼児言語教室(さくらんぼ)との連絡会	1回
清水区こども園等との連絡会	随時
区内児童発達支援事業所との連絡会	2回
就学支援における教育委員会との連携	随時

- 5 新型コロナウイルス感染症による事業中止の際の代替事業
 - (1) 電話相談業務の充実
 - ア 電話相談
 - イ 各家庭への電話による状況確認
 - ウ 活動休止連絡
 - (2) 広報活動の充実（ホームページによる情報発信）
 - ア 手作り教材、おやつ作り紹介
 - イ 子育ての悩みに関するアドバイス
 - ウ 新型コロナウイルス感染症への施設対応状況
 - (3) 職員研修の実施（8回）
 - (4) 施設備品等点検及び補修
 - (5) 新型コロナウイルス感染症対策に応じた活動内容の検討
 - ア 事業再開に向けた活動内容・方法、行事の実施方法、グループ編成の検討
 - イ 活動内容変更に伴う備品の準備

V 静岡市清水うしおワーク（多機能型事業所・定員：50名）

定員30名の生活介護事業と定員20名の就労継続支援B型事業の多機能型事業所として事業を行った。

また、利用時間の延長の取組みとして、利用時間前・後に延1,206人を受入れ、個別支援計画に基づいた支援を適切に行う等、概ね計画どおり進めることができた。

I 生活介護事業・定員30名

利用者が自立した日常生活又は社会活動を営むことができるよう個別支援計画を作成し、創作的活動や生産活動の機会の提供、その他の支援を適切かつ効果的に行った。

生産活動については、受注先である企業との連絡を密にして安定した作業量の確保に努めた。

また、希望する利用者には4台のバス（静岡市清水ひびきワーク利用者、静岡市清水うなばら学園利用者と同乗）で送迎を行った。

1 職員の配置状況（単位：人）

	常勤	非常勤	兼務	計	備考
管理者 （施設長）	1		(1)	1	就労継続支援B型と兼務
サービス 管理責任者	1		(1)	1	就労継続支援B型と兼務
生活支援員	6			6	
運転士兼 生活支援員	2		(2)	2	就労継続支援B型と兼務
看護師			1	1	なぎさホーム兼務
医師		1		1	嘱託医
計	10	1	1(4)	12	

2 利用者の状況（令和2年度末利用契約人員：32人）

(1) 年齢別（単位：人）

年齢 性別	～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	計	平均年齢	最長 年齢	最少 年齢
男	1	4	10	9	1	25	45.1歳	61歳	27歳
女	1	0	3	2	1	7	46.3歳	66歳	19歳
計	2	4	13	11	2	32	46.2歳		

(2) 在所期間（単位：人）

年数 性別	5年未満	5～10年	10～15年	15～20年	20年以上	計	平均在所 年数
男	2	1	5	2	15	25	21.1年
女	1	1	0	0	5	7	21.9年
計	3	2	5	2	20	32	21.3年

(3) 療育手帳所持者(単位:人)

区分 性別	A	B	計
男	22	3	25
女	6	1	7
計	28	4	32

(4) 障害支援区分(受給者証) (単位:人)

区分 性別	1	2	3	4	5	6	計	平均
男	0	0	1	12	11	1	25	
女	0	0	2	3	1	1	7	
計	0	0	3	15	12	2	32	4.4

(5) 入退所状況

入所	退所
1人	2人

(6) 利用状況

月	開所日数	契約実人数	利用延人数
4	日 22	人 34	人 674
5	18	34	587
6	23	34	698
7	23	33	700
8	22	33	615
9	22	33	638
10	23	33	692
11	22	33	615
12	23	33	665
1	22	33	619
2	20	32	572
3	24	32	707
計	264	—	7,782

3 生産活動

(1) 内容

事業所名	内 容
ベイプレス	チラシ配り

事業所名	内 容
(有)鈴恵工業	プラスチック製品の袋詰め
(株)日立ジョンソン コントロールズ空調	エアコン部品の加工
安藤紙業(株)	古紙回収
(株)池田ネジ商会	ネジの組込み

(2) 収入状況

年度別	令和2年度	平成31年度	増減
収入金額	1,863,359円	2,265,274円	△401,915円

(3) 工賃支給状況(月額)

最 高	最 低	平 均
7,063円	450円	3,078円

4 主要行事等(レクリエーション活動)

行事名	実施月	回数
映画鑑賞	7月、3月	2回
音楽コンサート	8月、12月	2回
体力測定会	11月	1回
ミニ運動会	11月	1回
マラソン大会	12月	1回
その他レク活動	随時	14回

※ 新型コロナウイルス感染症対策のため、年間計画で予定していた行事が中止となったためレクリエーション活動の充実を図った。

《その他》

- (1) 避難訓練を毎月1回実施した。
- (2) 運動支援事業(歩行・ティーボール・ランニング)等、共通する事業は就労継続支援B型事業の利用者と一緒に行った。
- (3) 体重測定、血圧測定及び染出しブラッシング指導を毎月1回実施した。
- (4) 歯科検診(11月)、健康診断(9月)の保健支援事業及びインフルエンザ予防接種(希望者のみ)を実施した。

5 体験実習及びボランティア等の受入状況(延べ人数)

区 分	受入れ人数	備 考
ボランティア	123 人	就労継続支援B型事業と共通
大学、専門学校生等の実習	0 人	就労継続支援B型事業と共通
特別支援学校生徒、教員見学	17 人	就労継続支援B型事業と共通
在宅または、他事業所利用者見学	6 人	就労継続支援B型事業と共通
体験実習(入所希望者)	40 人	就労継続支援B型事業と共通
合 計	186 人	

6 家庭との連携

施設の様子や行事予定を掲載した「うしおかわら版」を毎月発行し、各利用者に対しては、連絡ノートや電話を利用し情報交換を行った。また、個別支援計画等については、個別面談会等を実施し、家庭との連携を図った。

II 就労継続支援B型事業・定員 20名

利用者が自立した日常生活又は社会活動を営むことができるよう個別支援計画を作成し、生産活動の機会の提供、その他の支援を適切かつ効果的に行った。

生産活動については、受注先である企業との連絡を密にして安定した作業量の確保に努めた。

また、希望する利用者には4台のバス(静岡市清水ひびきワーク利用者、静岡市清水うなばら学園利用者と同乗)で送迎を行い、自主通所の利用者に対しては、交通ルールや公共交通機関の利用マナーについて順守するよう支援した。

1 職員の配置状況(単位:人)

	常 勤	非常勤	兼 務	計	備考
管理者 (施設長)	1		(1)	1	生活介護事業所と兼務
サービス 管理責任者	1		(1)	1	生活介護事業所と兼務
生活支援員	1			1	
職業指導員	1			1	
運転士兼 生活支援員	2		(2)	2	就労継続支援B型と兼務
目標工賃達成 指導員	1			1	
計	7		(4)	7	

2 利用者の状況(平成31年度末利用契約人員:17人)

(1) 年齢別(単位:人)

年齢 性別	~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳以上	計	平均年齢	最長 年齢	最少 年齢
男	0	2	8	2	4	16	49.7歳	71歳	37歳
女	0	1	0	0	1	2	54.0歳	69歳	39歳
計	0	3	8	2	5	18	50.2歳		

(2) 在所期間(単位:人)

年数 性別	5年未満	5~10年	10~15年	15~20年	20年以上	計	平均在所 年数
男	3	3	3	2	5	16	15.5年
女	0	1	0	0	1	2	22.0年
計	3	4	3	2	6	18	16.2年

(3) 療育手帳所持者(単位:人)

区分 性別	A	B	計
男	6	10	16
女	0	2	2
計	6	12	18

(4) 障害支援区分(受給者証) (単位:人)

区分 性別	無	1	2	3	4	5	6	計
男	6	0	0	4	5	1	0	16
女	1	0	0	0	1	0	0	2
計	7	0	0	4	6	1	0	18

(5) 入退所状況

入所	退所
2人	1人

(6) 利用状況

月	開所日数	契約実人数	利用延人数
4	22 ^日	18 ^人	338 ^人
5	18	18	279
6	23	18	346
7	23	18	336
8	22	19	340
9	22	19	335
10	23	18	368
11	22	18	343
12	23	18	357
1	22	18	340
2	20	18	313
3	24	18	382
計	264	—	4,077

3 生産活動

(1) 内容

事業所名	内 容
(株)日立ジョンソン コントロールズ空調	エアコン部品の加工
ボカシ作業	ボカシ製造、袋詰
(株)ニッケー工業	エアコン部品の加工
安藤紙業(株)	古紙回収
(株)池田ネジ商会	ネジの組込み

(2) 収入状況

年度別	令和2年度	平成31年度	増減
収入金額	4,592,194円	4,687,732円	△95,538円

(3) 工賃支給状況（月額）

最 高	最 低	平 均
27,603円	9,269円	16,734円

4 職場(体験)実習

他事業者からの入所希望者に対し、職場体験実習を行った。

5 就職の状況

就職者はなかった。

6 主要行事等（レクリエーション活動）

行事名	実施月	回数
映画鑑賞	7月、3月	2回
音楽コンサート	8月、12月	2回
体力測定会	11月	1回
ミニ運動会	11月	1回
マラソン大会	12月	1回
その他レク活動	随時	14回

※新型コロナウイルス感染症対策のため、年間計画で予定していた行事が中止となったためレクリエーション活動の充実を図った。

(4) 歯科検診(11月)、健康診断(9月)の保健支援事業及びインフルエンザ予防接種(希望者のみ)を実施した。

7 体験実習及びボランティア等の受入状況(延べ人数)

区 分	受入れ人数	備 考
ボランティア	123 人	生活介護事業と共通
大学、専門学校生等の実習	0 人	生活介護事業と共通
特別支援学校生徒、教員見学	17 人	生活介護事業と共通
在宅または、他事業所利用者見学	6 人	生活介護事業と共通
体験実習(入所希望者)	40 人	生活介護事業と共通
合 計	186 人	

8 家庭との連携

施設の様子や行事予定を掲載した「うしおかわら版」を毎月発行するほか、各利用者に対しては、連絡ノートや電話を利用し情報交換を行った。また、個別支援計画等については、個別面談会等を実施して必要に応じて家庭訪問及び生活環境の改善を行うなど、家庭との連携を図った。

VI 静岡市清水うなばら学園(生活介護事業所：定員 60 名)

コロナ禍の中、活動制限はあったが利用者が望む生活の実現を支援するための個別支援計画を作成し、それぞれの障害特性に配慮し充実した生活が送れるよう、生活、学習、作業支援等を実施した。生産活動については、木工、手芸の自主製品の他、受注先である企業との連絡を密にして安定した作業量の確保に努めた。

また、希望する利用者には4台のバス及び小型車両(静岡市清水ひびきワーク利用者、静岡市清水うしおワーク利用者と同乗)で送迎を行った。

なお、利用時間の延長の取組みとして、利用時間前・後に延 490 人を受入れ、個別支援計画に基づいた支援の対応を行う等、概ね計画どおり進めることができた。

1 職員の配置状況(単位：人)

	常 勤	非常勤	兼 務	計	備考
管理者 (施設長)	1			1	
サービス 管理責任者	1			1	
生活支援員	12			12	
看護師兼 生活支援員	1			1	
運転士兼 生活支援員	2			2	
業務員		1		1	
医 師		1		1	嘱託医
計	17	2	0	19	

2 利用者の状況(令和2年度末利用契約人員：53人)

(1) 年齢別(単位：人)

年齢 性別	～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	計	平均年齢	最年長	最年少
男	14	13	13	2	0	42	35.5 歳	52 歳	20 歳
女	2	3	5	1	0	11	39.2 歳	51 歳	25 歳
計	16	16	18	3	0	53	36.2 歳		

(2) 在所期間(単位：人)

年数 性別	5 年未満	5～10 年	10～15 年	15～20 年	20 年以上	計	平均在所 年数
男	3	12	5	9	13	42	14.8 年
女	0	1	1	3	6	11	21.4 年
計	3	13	6	12	19	53	16.1 年

(3) 療育手帳所持者(単位:人)

区分 性別	A	B	計
男	39	3	42
女	11	0	11
計	50	3	53

(4) 障害支援区分(受給者証) (単位:人)

区分 性別	1	2	3	4	5	6	計	平均
男	0	0	0	6	19	17	42	
女	0	0	0	0	5	6	11	
計	0	0	0	6	24	23	53	5.3

(5) 入退所状況

入所	退所
0人	0人

(6) 利用状況

月	開所日数	契約実人数	利用延人数
4	22 日	53 人	1,022 人
5	18	53	871
6	23	53	1,016
7	23	53	1,030
8	22	53	969
9	22	53	985
10	23	53	1,042
11	22	53	962
12	23	53	999
1	22	53	953
2	20	53	876
3	24	53	1,067
計	264	—	11,792

3 生産活動

(1) 内容

内容	事業所名等	内 容
請負作業	安藤紙業(株)	CDソフト等の分解・分別、油取り紙作成
	リサイクル	アルミ缶つぶし・卵の殻肥料作成
自主作業	手芸	刺し子・袋物等
	木工	花台・キーホルダー・プランターアクセサリー等の切り出し

(2) 収入状況

年度別	令和2年度	平成31年度	増減
収入金額	300,068 円	408,965 円	△108,897 円

(3) 工賃支給状況（月額）

最 高	最 低	平 均
790 円	10 円	472 円

4 主要行事等

行事名	実施月	回数
個別活動 (バスハイク、ハイキング、いちご狩り等)	随時	9 回
班活動(クッキング等)	随時	22 回
クラブ活動(スポーツ・音楽)	随時	71 回
全体班活動(焼いも体験)	11 月	1 回
クリスマス会(うなばら学園)	12 月	1 回

※新型コロナウイルス感染症対策のため、年間計画で予定していた行事が中止となったため施設内での行事に切り替えるなどの工夫を図った。

《その他》

- (1) 避難訓練・体重測定を毎月1回実施した。
- (2) その他、健康診断1回、血液検査(希望者のみ)、インフルエンザ予防接種(希望者のみ)、結核検診、歯科保健活動をそれぞれ年1回行った。

5 体験実習及びボランティア等の受入状況(延べ人数)

区 分	受入れ人数
大学、専門学校生の実習	40 人
一般学生ボランティア	1 人
人材センター	0 人
保護者ボランティア	0 人
合 計	41 人

6 家庭との連携

施設の様子や行事予定を掲載し、日々の活動の様子が伝わるよう写真を掲載した「うなばら学園だより」を毎月発行し、各利用者に対しては、連絡ノートや電話を利用し情報交換を行った。また、個別支援計画等については、個別面談を実施し、家庭との連携を図った。

Ⅶ 静岡市清水なぎさホーム（生活介護事業所：定員 20 名）

在宅の重度障害者を対象に、日常生活訓練を主体とした支援を行い、身辺自立機能の維持や社会参加及び家庭介護の軽減を図った。

また、「ライフサポート(日帰りショート)」は、1回の受け入れ人数を5人程度とし、全9回実施。「音楽療法」は、4月、5月は、新型コロナウイルス感染症対策により中止となり、年10回実施。また、「他事業所との連携」については、サポートセンターそら(生活介護事業所)との合同運動会等を計画していたが、新型コロナウイルス感染症対策により中止した。

1 職員の配置状況(単位：人)

	常勤	非常勤	兼務	計	備考
管理者 (施設長)	1			1	
サービス管理責任者	1			1	
生活支援員	5	2	(1)	7	管理者兼務
作業療法士兼 生活支援員	1			1	
看護師兼 生活支援員	2		(1)	2	
医師		1		1	嘱託医
計	10	3	(2)	13	

※看護師1名は、「静岡市清水ひびきワーク」「静岡市清水うしおワーク」を兼務。

2 利用者の状況(令和2年度末利用契約人員：15人)

(1) 年齢別(単位：人)

年齢 性別	～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳以上	計	平均年齢	最長 年齢	最少 年齢
男	1	0	4	1	6	41.2歳	50歳	23歳
女	5	3	0	1	9	29.7歳	52歳	20歳
計	6	3	4	2	15	34.3歳		

(2) 在所期間(単位：人)

年数 性別	5年未満	5～9年	10～14年	15～19年	20年以上	計	平均在所 年数
男	2	2	0	0	2	6	11.4年
女	3	4	2	0	0	9	6.5年
計	5	6	2	0	2	15	8.5年

(3) 身体障害者手帳所持状況(単位:人)

性別 \ 級	1 級	2 級	無	計
男	3	1	2	6
女	7	1	1	9
計	10	2	3	15

※利用者全員療育手帳(A)を所持。

(4) 障害支援区分(受給者証) (単位:人)

性別 \ 区分	1	2	3	4	5	6	計	平均
男	0	0	0	0	1	5	6	
女	0	0	0	1	0	8	9	
計	0	0	0	1	1	13	15	5.8

(5) 入退所状況

入所	退所
2人	3人

(6) 利用状況

月	開所日数	契約実人数	利用延人数
4	23 日	15 人	261 人
5	18	15	220
6	24	15	268
7	23	15	268
8	22	15	220
9	22	15	237
10	24	15	266
11	21	15	218
12	22	16	265
1	21	16	241
2	20	16	235
3	24	15	275
計	264	—	2,974

3 主な活動内容

日常の日課として、個別の課題活動、レクリエーションゲーム、足浴、外気浴等を行った。
また毎週水曜日は、多目的ホールを使用して、運動的活動を行った。

4 主要行事等

行事名	実施月	回数
外出活動(日本平運動公園、三保しるべ)	10月、11月	2回
誕生会	随時	8回
季節行事(夏祭り、クリスマス会、節分、ひなまつり)	随時	6回
音楽療法	毎月	10回
リハビリ指導	11月	1回
スポーツ体験(県障害者スポーツ協会指導)	2月	1回
ライフサポート事業	随時	9回

※その他、避難訓練を毎月1回行う他、健康管理として体重測定を毎月1回、健康診断、血液検査(希望者のみ)、インフルエンザ予防接種(希望者のみ)、結核検診をそれぞれ年1回行った。

5 送迎サービス

送迎を希望する利用者(16人)に対して、毎日、個別送迎を実施した。

6 体験実習及びボランティア等の受入状況(延べ人数)

区分	受入れ人数
ボランティア	23人
特別支援学校生徒等実習	19人
大学・専門学校生の実習	0人
施設見学	13人
合計	55人

7 家庭との連携について

施設の様子や行事予定を掲載した「なぎさだより」を毎月1回配布した他、「家庭連絡ノート」による家庭と施設間の連絡や個別支援計画作成時における個別面談(年2回)の実施、日々の個別送迎時を通して、家庭との連携、連絡調整を図った。

Ⅷ 障害者相談支援センターわだつみ(相談支援事業)

I 特定相談支援事業・障害児相談支援事業

静岡市の指定を受けて、利用者が、そのライフステージに応じた自立した日常生活、又は社会生活が営むことができるよう、利用者やその家族からの相談に応じ、サービス等利用計画の作成及びモニタリングを行い、地域の障害児(者)とその家族の福祉の向上に努めた。

1 職員の配置状況(単位:人)

	常勤	非常勤	兼務	計	備考
管理者	1		(1)	1	事務局兼務
相談支援専門員	5		(1)	5	
計	6	0	(2)	6	

※相談支援専門員1名は、障害者等相談支援兼務

2 計画作成の状況(単位:件)

区分	計画	継続	計画・継続	各種加算							
				初回	担当会議	モニタリング	退院通院	居宅連携	医療保育教育	地域生活拠点	地域体制強化
特定	161	494	16	10	9	151	1	0	1	6	2
障害児	77	93	13	8	1	63	0		0		
合計	238	587	29	18	10	214	1	0	1	6	2

II 障害者等相談支援

静岡市から委託を受け、静岡市障害者等相談支援事業実施要綱に基づき、相談支援事業、障害児等療育支援事業、障害者虐待防止センター事業の各業務を実施し、障害児者等とその家族の福祉の向上を図った。

1 職員の配置状況(単位:人)

	常勤	非常勤	兼務	計	備考
管理者	1	0	(1)	1	事務局兼務
相談支援専門員	2	0	(1)	2	
計	3	0	(2)	3	

※相談支援専門員1名は、特定相談支援事業・障害児相談支援事業兼務

2 相談支援事業

(1) 相談支援実績

区 分		実 績
開設日数		243 日
相談支援	実人数	667 人
	延件数	3,902 件
個別支援計画	作成件数	0 件
	作成支援件数	0 件
個別支援会議	開催回数	20 回
	参加回数	67 回
自立支援協議会 開催・参加状況	事務局会議	10 回開催
	区連絡調整会議	2 回開催
	全体会議	2 回参加
	市自立支援会議	4 回参加

ア 実績の詳細(相談支援実人数)

区 分	障害者	障害児	計
実人数	558 人	109 人	667 人
うち、重複障害のある 人数(重心は除く)	0 人	0 人	0 人

イ 障害種別内訳(単位：延人数)

障害別 区分	知的障害	発達障害	身体障害	重症 心身障害	精神障害	高次脳 機能障害	その他	計
障害者	522	0	19	0	17	0	0	558
障害児	108	0	0	0	1	0	0	109
計	630	0	19	0	18	0	0	667

ウ 支援方法内訳(単位：件)

区分	訪問	来所 相談	同行	電話	メール	個別支 援会議	関係 機関	郵便	代行	計
身体障害	1	1	0	20	0	0	21	0	0	43
知的障害	165	117	223	892	337	87	1,823	18	115	3,777
精神障害	3	1	4	47	0	0	27	0	0	82
計	169	119	227	959	337	87	1,871	18	115	3,902

エ 年間相談延件数の支援内容別内訳 (単位：件)

内 容	件数	内 容	件数
福祉サービスの利用等に関する支援	1,536	生活技術に関する支援	194
障害や病状に関する支援	220	就労に関する支援	60
健康・医療に関する支援	553	社会参加・余暇活動に関する支援	11
不安の解消・情緒の安定に関する支援	384	権利擁護に関する支援	106
保育・教育に関する支援	161	障害者虐待に関する支援	9
家族関係・人間関係に関する支援	295	社会資源等の情報を共有するための支援	0
家計・経済に関する支援	358	その他委託者が必要と認める支援	15
		合 計	3,902

(2) 相談支援体制の強化に関する取組み実績

区 分	年間実績	
困難事例への対応	延件数	194 件
地域の相談機関への助言・指導	実施回数	1 回
基幹相談支援センターとの連携	実施回数	35 回
合 計		230 回

2 障害児等療育支援事業

(1) 訪問による療育指導

実施内容	対 象	実施回数	参加人数
地域包括支援センター主催 ケアマネ勉強会	介護支援専門員	1回	28人
福祉サービス説明	幼児言語教室職員	1回	2人
母親教室 (福祉サービス利用説明会)	うみのこセンター 年長児	4回	49人
合 計		6回	79人

(2) 外来による専門的な療育相談、指導

実施内容	会 場	実施回数	参加人数
自立支援プログラム 「おしゃべり会 (SST)」	はーとぴあ清水	中止	0人
自立支援プログラム 「スポーツを体験しよう」	静岡市しみず社会福祉事業団	1回	7人
自立支援プログラム 「料理をしてみよう」	はーとぴあ清水	中止	0人
合 計		1回	7人

(3) 障害児の通う保育園や障害児通園事業等の職員の療育技術の指導

区分	実施月	対象児	会 場	実施回数	参加人数
第1回	7月	1名	草薙ふたばこども園	1回	4人
第2回	8月	1名	嶺保育園	1回	10人
第3回	9月	1名	蒲原学園幼稚園	1回	8人
第4回	10月	1名	蒲原聖母幼稚園	1回	3人
第5回	11月	1名	嶺保育園	1回	9人
合 計				5回	34人

※臨床発達心理士による児の観察と研修を実施した。

(4) 療育機関に対する支援

実施内容	会 場	実施回数	参加人数
療育講演会 (放課後等デイサービス 事業所対象)	はーとぴあ清水	1回	34人
合 計		1回	34人

